

白津地区租税教育推進協議会長賞

税のありがたみを認識すること

大分県立白杵高等学校 三年

二 村 匠

税は、様々なところで使われています。私の身近なところでいうと、授業料の負担などが挙げられます。

これにより、多くの学生が勉学に励むことができます。しかし、残念ながら年々学力が低下していることを耳にしました。この傾向から、勉強ができるという環境にありがたみを感じず、熱心に勉強する人が少ないということが感じ取られます。

アフリカなどをはじめとする発展途上国には、国の社会保障制度などが充実してなく、勉強がしたくても

出来ない環境にいる子どもたちが大

励んでいきたいです。

勢います。私は、日本のように勉強できる環境がありながらも、やらな
いことはこういった国々の人々に失
礼な行為だと感じました。また、勉
強することにより我々は国を発展さ
せることができます。様々な知識を
吸収し、過去の過ちを見つめ直すこ
とで、日本は発展してきました。日
本国民ならば、日本の現状を理解し
貢献していくことが大切と考えます。
その社会貢献として我々に出来るこ
ととして納税が挙げられます。

私も数年後は働きだし、所得税が課せられます。熱心に働き、給料を頂き、その一部を所得税として献上することにより社会貢献を果たしていけたらと考えています。また、今ある環境に感謝をし、懸命に学習に

今年、熊本・大分で大きな地震が発生しました。その際の復興支援の際にも税金によりまかなわれたということを知りました。もし税を支払う制度がなければ、支援物資等が被災地に届かず、多くの被災者が苦しみ犠牲になったかもしれませぬ。そう考えるとぞつとします。

税により私たちの生活が豊かになっていくことはいうまでもありません。しかし、税に対しての感謝の気持ちや知識が薄れているということを感じます。もしこれがなければ私たちの生活はどうなっていたのだろうかといった想像力を働かせることで、税に対しての考え方を改善していく必要があると感じました。